# 環境土木工学科

Department of Civil and Environmental Engineering

■キーワード
環境の安心・安全
社会インフラの計画
環境の構築

■学習・教育目標
現代は、自然環境と調和した安全・安心で持続性のある快適な環境づくりを求めている。本学科は、まちづくりや都市計画の地域環境、交通・河川・水・緑の国土環境、自然や生物多様性を守る地球環境を対象とし、施設構造物から地域開発までの幅広い計画・設計・施工・維持管理ができる専門的な基礎知識を身につけた人材を育成する。環境技術・防災技術・地域政策を総合的な学びの領域とし、社会インフラを含む環境を構築し運営できる人材を育成する。

## 環境土木工学科

### 科目群の学習・教育目標

**環境土木工学技術者に向けての自己形成能力**
講義、フィールド見学、社会人による講演などさまざまなアプローチにより、業種および職種が多岐にわたる建設業界を学び理解することができる。さらに環境土木工学の技術者になるための自己のキャリアパスを描くことで自己形成能力を身につけることができる。

**構造物の設計・施工・維持管理に関する基礎的能力**
土木力学、構造力学、コンクリート工学など構造物の基礎を学び、構造物の設計・施工・維持管理に関する基礎的能力を身につけることができる。

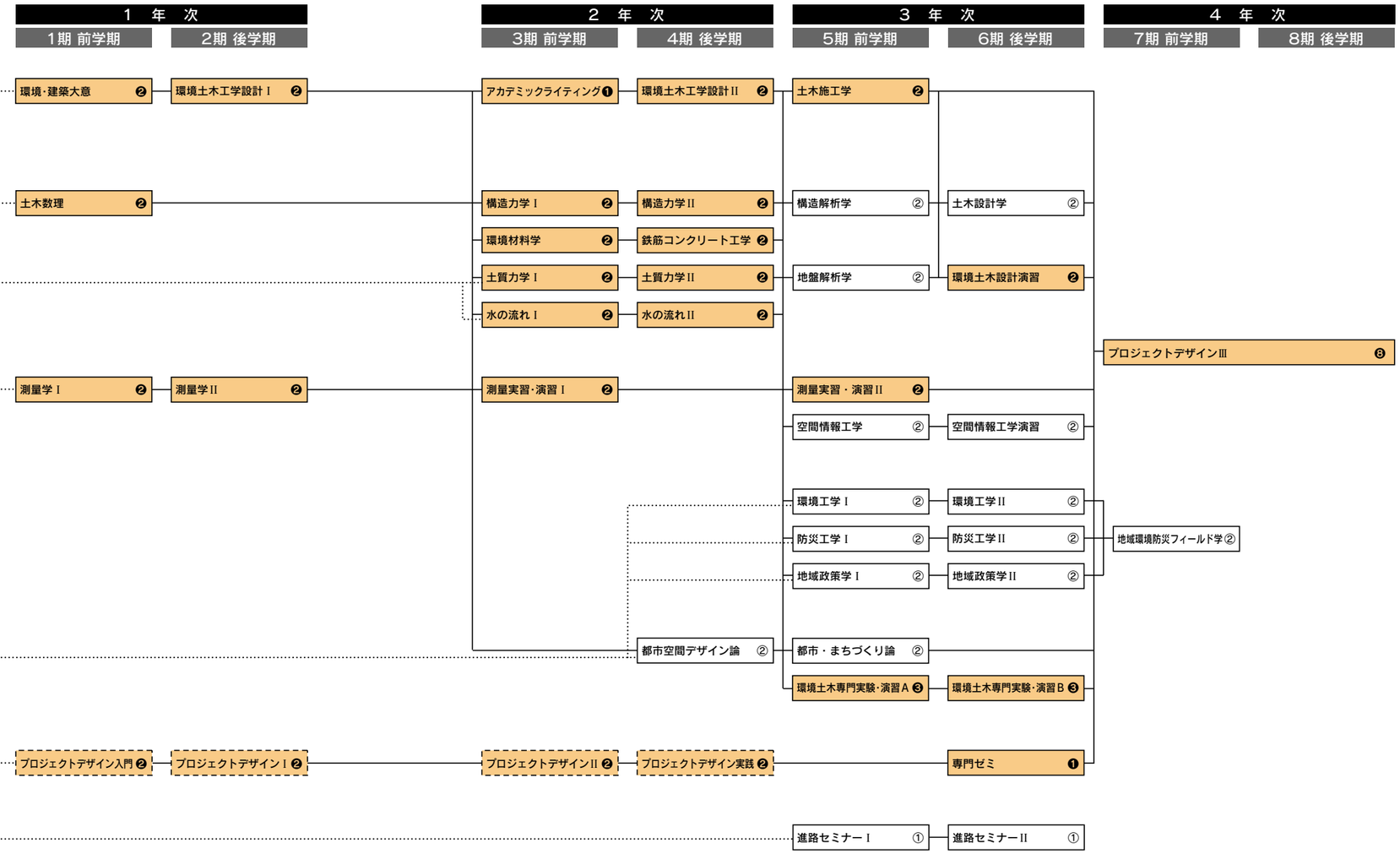
**自然環境の活用に関する基礎的能力**
土の性質と水の流れの基礎を学び、自然環境の活用に関する基礎的能力を身につけることができる。

**空間情報を計測・分析・評価する基礎的能力**
情報通信工学を活用した空間情報工学・衛星測位など最新の計測手法を学び、環境情報を処理・解析および評価することができる。

**環境土木工学の統合化能力**
環境土木工学の基礎知識を統合化した環境技術・防災技術・地域政策を学び、安全・安心で持続性のある地域環境を構築し運営できる能力を身につけることができる。

**プロジェクトデザイン能力**
プロジェクトデザイン手法を学び、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につけ、問題を発見しそれを解決するアイディアを提案する能力を身につけることができる。

**キャリアデザイン能力**
関連分野における実社会の動向を理解し、大学院進学も含めて将来の進路を幅広く展望した上で、自らの進むべき方向を決定することができる。




❶ 必修科目　① 選択科目　❶ 他課程の科目